

たくようだより



# たくよう

令和元年 12月

No.80

秋・冬号

障害者支援施設  
就労継続支援B型事業所

新葉学園

相談支援事業所

しんよう

介護サービス包括型  
共同生活援助事業所

第1拓洋ホーム

発行者 社会福祉法人 拓洋会

薩摩川内市樋脇町塔之原 4020

TEL: 0996-37-2861 FAX: 0996-37-2981

<http://takuyoukai.w.kobira.co.jp/>



## 「日常の中に」

B型事業課長兼サービス管理責任者

野村 昌弘

「お久しぶりです！秋まつりのポスターを見てお母さんと遊  
びに来ましたよ！」

声を掛けてくれたのは、元利用者の女性。福祉サービスを利用しながら、地元で歌や踊りを通して芸能活動に取り組む彼女は、続けて「体育館ができたからステージも大きくなって歌いやすそう！良いなあ。」そう言って利用者やゲストが演舞するステージに興味深く視線を向けながら楽しそうにリズムをとっていた。

『利用者と地域の為に』というコンセプトで長年続けてきた夏祭りも近年の温暖化や時代の流れもあり、昨年秋まつりへと「進化」した。毎年、数百名で賑わうその場所は、もはや私たちのマイホームではなく「地域が『交ざる』空間」へと姿を変える。笑顔溢れる利用者、懐かしい面々、いつもパンを買いに来てくださる常連のお客様、いつもお世話になっているクライアントの皆様、各関係機関の職員の皆様、実習に来てくれた学生さん、そしていつも応援してくださる地域の方々…。そんな光景を心空つぼにして見えてきたのは、社会の縦割り・支え手・受け手という関係を越えたコミュニケーションの一体感であると同時に、毎日見ているシーンの延長線でもあったという事。

福祉の世界も大きく変化し、ニーズも制度も多様化する中で、子どもから大人まで、障害がある人もない人も皆、同じ地域の中で育ち、「このまちに生まれてきて・暮らせてよかった」と思える社会を創造する事が理想だと言うならば、それは真新しい非日常の中で生み出されるものではなく、何気ない日常を通して毎日存在するものであり、日々のシーンの積み重ねこそが、地域を笑顔に変えていく原動力になることに改めて気付く。暮らす場所や働く場所が違って私たちが、「地域共生社会」の中で、いつも自然に繋がっている関係で居たい。来年もまた、新たな出会いと再会を繰り返して、互いの成長を喜び、私たちはこのまちで共に暮らしていくのだろう。





▲豪華賞品が当たり皆大喜び(〇^o^〇) ▲オープニングは北薩広域にわか劇団 ▲さくらじまん参上(ノoノ) /

▲YMCAチアダンススクール様!! ハロウィンコスでとってもcuteでした(ノoノ)-♡

# 10/26 ほんぶよう 秋まつり

## 生活支援員

鶴崎 祥一

去る十月二十六日(土) 第二回しんぶよう秋まつりが開催されました。

オープニングを盛り上げて頂いた、北薩広域にわか劇団は、活動年数十五年、衣装は全て手作り地域のお祭りや高齢者施設の慰問などで活動されています。

ジミー入枝さんを総合司会に招き、トークや歌謡ショーにと盛り上げて頂きました。地元の善福寺こども園の園児による太鼓の披露があり、何時もと違う場所、雰囲気の中緊張した様子で一息懸命頑張っていました。

樋脇中吹奏楽部は「芸術の秋」のひと時を楽しんで頂けるように心を込めた演奏を奏でてくれました。心踊俱樂部はジミー入枝さんとのコラボもあり日頃の練習の成果を発表する良い機会となりました。鹿児島YMCAチアダンススクールWIZARDSは、三歳から大学生まで約三百名で活動され開始十年目。観ている方に演技を通して

元気を伝え笑顔になる魔法を掛けてくださいました。琉球舞踊太圭流華椿の会は古典舞踊と雑踊りの伝統を披露し、祭りを盛大に盛り上げて頂きました。今年、初の体育館での開催となり、不安や戸惑いもありましたが、無事に終了出来た事を嬉しく思います。最後にご出演頂いた皆様をはじめ、保護者、地域の方々にご支援ご協力を頂き誠に有難うございました。

# 9/12 体育館落成披露会

## 主任生活支援員

野村 由紀

九月十二日の体育館落成披露会に際し、多くの来賓の皆様にご臨臨賜り、誠に有難く御礼申し上げます。

体育館完成後、利用者の皆さんのレクリエーションや利用者ご家族や地域の方々をお招きしての映画鑑賞など、今まで成し得なかったことに大いに活用させていただいております。これもひとえに、安全に工事を進めていただいた関係者の皆様のご協力の賜と心から感謝いたしております。



▲★新設された体育館★

**利用者**  
**立野 ほの香さん**  
十月二十六日に秋まつりがありました。今年、体育館でした。私は、心踊クラブのメンバー達とジミー入枝さんとコラボで三曲踊りました。「日本全国福の神」と「あずみのありがとよ」とジミー入枝さんの曲

**利用者**  
**栄田 博和さん**  
僕は、秋まつりにさんかしてジミー入枝さんの司会がとても楽しかったです。あと、樋脇中の吹奏楽部の演奏がとてもよかったです。



▲今年もジミー入枝 with 心踊俱樂部登場♡

ろかったです。最後にちゅうせん会がありました。私は、あたりませんでした。次はあてたいです。来年もジミー入枝さんとコラボしたいです。



▲樋脇中学校吹奏楽部の皆さん!! 素敵な音色に皆うっとり♪



▲善福寺こども園のちびっ子達も頑張っていましたp (ノoノ) q

▼笑顔の花が咲きます☆



▼理事長挨拶







▲皆さんご馳走に夢中

▲過去にタイムスリップ...

▲愛嬌あるお猿さんにホッコリ

# 生活介護事業 in 熊本 利用者一泊旅行

11/  
7~8

▲迫力あるおもてなし隊

## 利用者

諏訪 信行さん

一日目は、高速道路を走って熊本方面に行き、キムチの里でお昼ご飯を食べました。次に阿蘇猿回し劇場でサルの出し物を見ました。そして、ホテルに着いて宴会や買い物しました。その後は、自由時間になりました。

二日目は、熊本城を見ました。そして、加藤神社を参拝しました。お昼は花雅で食べました。それから買い物をしてから学園に帰ってきました。皆さん大変喜んでいました。また、行きたいと思いました。

## 生活支援員

橋口 初美

十一月七日から八日にかけて利用者二十四名、職員五名、利用者家族四名(計三十三名)で熊本旅行に行ってきました。

初日は、阿蘇の猿まわし劇場にてショーを観覧し、二匹の可愛いお猿さんが代わる代わる色んな芸に「おっ」と言う歓声が湧き上がりました。おもしろい芸や、芸人顔負けの仕草で笑い声も上がる等、皆さんそれぞれ楽しませていただきました。宿泊先では、普段味わえない食材を目の前に「美味しい、美味しい」と言いながらご馳走を堪能されていました。その後はカラオケで盛り上がり、皆さん争う様に曲をリクエストし、聞き役、歌い役とそれぞれが余韻に浸っている様子が窺えました。



▲熊本城をバックに集合写真 (△○△)

何事も無く無事帰園出来た。写真撮影されている程でした。楽しかったとの声がかれました。また機会があれば皆さんと一緒に楽しめたらと思います。

## 利用者

児島 芳恵さん

コカ・コーラ工場見学してから宮崎県の動物園に行きました。かわいらしいラマやカピバラがみんなを迎えてくれました。園内を散歩している象を間近に見れて感動しました。二日目は、雨になりながらも大吊橋を渡りました。ホテルの食事もおいしくて楽しい旅行でした。

## 相談支援専門員兼 主任生活支援員

小川 淳

十一月二十一日(木)から二十二日(金)にかけて利用者職員含め総勢三十名が旅行に参加しました。何日も前から旅行の行程表を確認する等楽しみにしている様子が窺えました。

一日目、天候にも恵まれ胸を膨らませながら一路コカ・コーラ工場の工場へ。馴染みのあるコカ・コーラ社製品の製造工程を学んだあとは楽しみにしていた試飲でホッコリ。また、コレクションギャラリーでは、懐かしい自販機やポスター、ボトル、グッズ等展示があり、皆さん興味津々に見学されていました。フォトスポットでは、アンティークな看板をバックにアメリカンな気分になりながら記念写真に笑顔。次に向かったフェニックス自然動物園は、世界地域ごとに動物が

過ぎており、沢山の動物たちを間近に体感することが出来ました。特にフラインゴのショーは珍しく、集団行動の特性を活かしたもので大変魅了されていました。今回の宿泊先である青島ビーチ沿いのリゾートホテルは、ゆったりとした時間が流れ、皆さんご馳走に舌鼓しながら時間の許す限り楽しいひと時を過ごしました。土産品の数も豊富で大変満足していました。

二日目は、朝からあいにくの雨の中、綾の照葉大吊橋へ。吊り橋からの眺めは霧が掛かり絶景とまではいきませんが、したが、幻想的な雰囲気を感じられました。吊り橋の高さは142メートル。ところどころ床面が格子になっており、川に吸い込まれそうな感覚と少し揺れる事で恐怖を感じ、途中で引き返す方がいらっしやいました。屋食会場である「綾酒泉の杜」では、酒蔵や観光ワイナリーが建ち並び、工場見学と無料飲酒コーナーを楽しめました。本格焼酎、ワイン以外にも沢山の工芸品や民芸品などを見学出来るのも事でしたが、雨天により土産選びに時間を多く設け、皆さん満足そうに土産を購入する事が出来ました。土産をいっばいに抱えながら無事に学園に到着。皆さん、疲れた表情も見せず、帰りのバスの中は旅を振り返り思い出話で盛り上がっていました。それぞれ思い出に残る素敵な旅だった

# 生活介護事業 in 宮崎 利用者一泊旅行

11/  
21~22

▼綾自然蔵見学館 試飲コーナーにて

▼インスタ映え (△△)

▼結構揺れました!! (綾の大吊橋)



▲宿泊先：ANA ホリデイインリゾート青島

のではないのでしょうか。今後も様々な体験を通して感動を受けながら充実した生活へと繋がる様努めていきます。



# 九州大会 W 優勝!!

11 / 15~16

第二十七回

九州地区知的障害者  
施設親善球技大会 in長崎



▲表敬訪問 県知事室にて



▲グラウンドゴルフメンバー!

九州地区知的障害者親善球技大会が長崎県佐世保市でおこなわれました。今回からソフトバレーがあらたにくわわれることになって、出場できました。強いチームが私たちのパートにかたまり、最初は勝てるか心配でしたが、どうにかストリートで勝つことが出来てとてもうれしかったです。そして決勝戦まで行き、みごとに優勝することが出来て良かったです。

利用者 村岡 智恵さん



▲ソフトバレーメンバー!

利用者 富吉 和明さん

九州大会が長崎県佐世保市でありました。十一月十五日は交流会、十一月十六日は試合がありました。グラウンドゴルフはサッカー場であり、ソフトバレーボールは佐世保体育館でありました。

試合の結果はグラウンドゴルフ、ソフトバレーともに優勝でした。みんな勝つてとても喜んでいました。良い経験になったと思います。来年も素晴らしい成績を残せるよう皆で頑張りたいと思います。

個人賞が今回ありまして学園から最優秀賞が二人、優秀賞一人でした。本当に大会スタッフの方々に感謝

の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

生活支援員

西尾 美代子

九州地区知的障害者施設親善球技大会（長崎県佐世保市）に十一月十五・十六日引率してきました。大会前ソフトバレー三回、グラウンドゴルフ一回だけの練習で大会に挑み、前日練習時には他施設の方の練習風景を見学して圧倒され、自分たちの練習不足に不安がありました。一戦一戦を全力で戦い見事全勝優勝する事が出来ました。



▲全員で!

北薩ふれあい  
スポーツ大会

9 / 25

利用者 山崎 幸子さん

綱引きをしました。手が痛いでした。スポーツ大会に行つて良かったなあと思いました。みんな速くてもっと練習をしたらよかったですと思いました。気持ちがよかったです。



▲たくさん入ってる?



▲うまく入るかな・・・



# 施設入所 在園者外出

8 / 13

利用者 松崎 美香さん

八月十三日に、濱田屋 伝兵衛でまず食事をし、その後、焼酎蔵見学をして、お芋のいいおいがしました。串木野のプラッセだいわで買い物をしてとっても楽しい一日でした。他の方たちも本当に楽しそうでした。



▲～美味しそうですね～

係長兼生活支援員

鬼塚 博己



▲いただきまーす (^▽^)

去る八月十三日、入所 在園者の方々といちき串木野方面へ外出しました。焼酎蔵濱田屋伝兵衛で 昼食を摂った後、お店の 好意で工場見学をさせていただきました。製造工程に沿って説明を受け、質問にも丁寧に答えて頂き見学を終えました。その後、串木野だいわに立ち寄って買い物を行い、それぞれ日用品を購入する中、当日は気温が高く店内でアイスを食べる方も多くおられました。利用者さんの協力のもと、安全に帰園する事が出来ました。次回も皆さんの沢山の笑顔が見られる様計画したいと思っております。



▲初めて見る道具ばかりです



▲皆さん 真剣に見学中です



▲一升瓶 何本分でしょう...



▲みなさん真剣です!!



▲パン作りスタート♪



◀美味しくな～れ♡

利用者 藤岡 基博さん  
八月十六日はパン作り体験を行いました。とっても楽しい一日でした。次のきかいがあればいいと思います。

8 / 16

# パン作り体験



▲☆☆丁寧な指導付きで安心です☆☆

# しんよう 心踊倶楽部 ギャラリー



ソウフクマルシエ  
in  
アミュプラザ



▲桶脇町 文化祭



▲市比野まごい祭り



▲新葉学園 秋まつり



# 思い出アルバム

写真は楽しい活動の一部です



▲グループホームBBQ



▲利用者一泊旅行 第1班 熊本城



▲みんなでニンニクを植えました



▲薩摩中央高校 実習生



▲市比野小パン作り体験



▲鹿児島純心大学保育実習



▲職員レクリエーション大会



▲生活介護パン作り体験



## 研修報告

### 第五十七回全国知的障害者福祉施設 職員研究発表大会(鹿児島大会)

#### 「思いをかたち」

豊かな生活をおくるといふこと

職業指導員兼相談支援専門員 原田 仁

去る十月二十二日から二十六日にかけて第五十七回全国知的障害福祉関係施設職員研究大会 鹿児島大会が開催された。全国各地から約五十名の相談支援専門員が一堂に会し、相談支援専門員の役割、技術についての分科会に参加させて頂いた。相談支援専門員の役割としては、利用者本人の夢や希望に耳を傾け、実現の為に様々な福祉サービス、または福祉以外のサービスを熟知し提案する事が求められることであった。実際の所は日々の業務に追われ、利用者の夢や希望に耳を傾けられていない事が多いのではないかと、または実現の為に方法や福祉サービスを理解出来ないのではないか、反省するべき事が多かった。また、相談支援で一番大切であると言われるインテーク(初期面談)に於いては、本人との面談だけでなく、保護者やその関係者とも面談を行い、成育歴や癖、生活状況等の聞き取りが大切と再確認する事が出来、相談支援を行う上で信頼関係の構築は不可欠であるが、あくまでも職業

的関係であつて私的関係(友達関係)ではない。人格的には平等であつても、役割や立場に於いて対等ではない(人として平等だから、尊重する、受け入れる事が大切)と繰り返し説明があつた。また、近年災害が多く発生している事も緊急時の迅速、確実な相談支援の実施、短期入所等の活用も担つており、地域生活拠点等の整備も相談員の重要な役割であると感じられた。今回の研修は全国各地から参加している事もあり、地域によつて様々な課題が挙げられ、例えば長崎県の課題としては、坂道が多い事も影響し「身体障害者への対応」や「島での教育環境(特別支援学校)の整備や障害者の就労問題」等、地域に応じた対策が必要であり、我が鹿児島県に於いても離島が多い事や火山灰の影響等、検討課題は多くあると感じられた。最後に秋まつり等、多忙な時期に全国各地の参加者と共に様々な話をする機会を頂き本当にありがたかったです。

## 研修報告

### 強度行動障害研修

准看護職兼生活支援員 谷口 美鈴

十月三日、四日の基礎研修、十一月五日、六日の実践研修に参加させて頂きました。

基礎研修では強度行動障害の障害特性を理解し、困っているのは周りの人ではなく利用者「本人」であるという事、「障害特性」とそれを取り巻く「環境や状況」の相互作用で行動障害が起きます。強度行動障害者の多くは「話し言葉の理解・伝える」「話し言葉以外の手がかりの理解・伝える」「手がかりにタイミングよく注意を向けること・適切なタイミングで伝える」の三つが苦手な人達である為、障害特性を理解し、強度行動障害者本人が理解出来る方法で「分かる」「伝えられる」のコミュニケーションが大切であり言葉だけではなく、物理的構造化(部屋や教室、作業所などの家具や使用する物などの配置)、視覚的構造化(見て分かる)、よつにして理解しやすく)、わかりやすい環境を作り、示す方法も大事であるという事を学びました。

実践研修では、本人の障害特性(苦手なこと)を「強みの表現」に変えて、本人が理解し、出来る事を支援するという研修であり、実際に支援計画書、支援手順書を作成し、お互いにそれぞれの立場になり実演しました。実際に演習を行う中で利用者さまに当てはまる部分が多く、相手に伝える事の難しさを実感し、どんな気持ちであるかを理解、納得し認識する事が出来ました。

利用者さまが困惑しない為には、一人ひとりの特性を理解し、統一した支援を行う事が不可欠です。問題点を見出すには、日頃の記録は勿論の事、ケース会議も定期的に行い、支援員全員が情報を共有し、同じ支援方法で「チームが一貫」で行う事が大事であると話がありました。

今後は、みんなで支援目標に沿って、連携を持ちながら取り組み、強度行動障害支援者養成研修修了者に求められる役割を十分に理解し、学んだことを生かしていきたいと思現場で実践していきたいです。

実践研修では、本人の障害特性(苦手なこと)を「強みの

## 施設内研修

第三回  
令和元年 九月十三日(金)  
テーマ

「手洗い実験」  
「野菜について」

講師  
栄養士 三輪 優子



▲手洗いチェッカーの体験

第四回  
令和元年十一月八日(金)  
テーマ  
「権利擁護について」

講師  
薩摩川内市社会福祉協議会  
権利擁護センター 主事  
瀬戸口 高代 様





# 社会福祉法人 清水基金様より 助成金を受け送迎バスを購入

事務局長 徳 永 幸 夫

この度、社会福祉法人清水基金様より、平成三十年度助成事業の送迎用マイクロバス（二十九人定員）の助成金を受け購入しました。日々通所利用者の送迎や各種イベントへの参加等にも安全運行が期待でき、利用者・職員一同共に喜んで居ります。又、今後更に障害者の地域での生活や地域就労を実現する為の「足」としても活用できると思っています。尚、車両導入において助成して頂いた「清水基金」様に心から感謝申し上げます、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



# 九州地方更生保護委員会 委員長感謝状の贈呈

事務局長 徳 永 幸 夫



更生保護制度施行七十年記念令和元年度鹿児島県更生保護大会が、令和元年十一月八日（金）かごしま県民文化ホールにおいて開催され、この席上にて、この度更生保護事業における民間協力者として当拓洋会に感謝状の贈呈が行われました。今後、我々福祉施設事業所としても更生保護制度を理解し、我々が担うべき役割とその責務の重大性について認識を深めながら、犯罪や非行のない地域社会を願い社会を明るくする運動にも積極的に参加して行きたいと思えます。



## 上映会

八月二十二日に神園浩司監督、三角清子さんプロデュースの「ゆずの葉ゆれて」という映画の上映会が行われ家族や地域の方々が多く来園して下さいました。

## 新職員紹介

### 生活支援員 坂元 亜紀子



10月1日より拓洋ホームで勤務しております坂元亜紀子です。障がい者施設では初めての経験になり、分からない事も沢山あると思いますが1日も早く仕事を覚え一生懸命頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

### 世話人 市成 なつ子



令和元年11月1日からお世話になる事になりました。市成です。入職して半月程経ちました。職場の先輩に助けられながら毎日、楽しくお仕事をさせて頂けています。まだまだ分からない事だらけですが、1日も早く名前と顔が一致し気軽に声を掛けてもらえるようになりたいです。これからもよろしくお願ひします。

### 生活支援員 有馬 伸介



初めまして。十二月よりみなさんのお仲間に入れていただきました有馬伸介と申します。初めての環境で覚える事も多いと思います。「目配り」「気配り」「心配り」を忘れず、がんばりたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

## 退園者

田島 知歩さん

## 退職者

<支援員>  
和田 正勝  
(9月末)

<世話人>  
徳田 みどり  
(10月末)

## ◆今後のスケジュール◆

- 12月27日 仕事納め式
- 1月6日 仕事始め式
- 1月10日 新成人を祝う会
- 2月22日 新葉ウォーキング大会

## 編集後記

早いもので、今年も残すところ僅かとなりました。今年には体育館を活用した行事（上映会や秋まつり）が行われ多くの方に来園して頂きました。来年も利用者さんの様子が分かる情報を掲載できるような頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

来年も皆様にとって良い一年となりますように心からお祈り申し上げます。  
(蔵前)

- 【令和元年度広報委員会】
- 藤崎 照矢 角 直子
  - 小川 淳 蔵前 美樹
  - 乙須 恒平
  - 池田 俊彦
  - 三輪 優子